

株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン
株式会社大林組

JR 東日本グループ初の木造商業ビル (仮称)nonowa 国立 SOUTH 着工のお知らせ

JR 東日本グループの株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン(本社:東京都小金井市/代表取締役社長:高橋好一)は、国立駅南口に計画中の木造商業ビル「(仮称)nonowa 国立 SOUTH」について、2024 年春の開業に向け、2023 年 3 月中旬、株式会社大林組(本社:東京都港区/代表取締役社長:蓮輪賢治)の設計施工により、本工事に着手します。

また、本計画は昨年 11 月に先導的な木造建築物として設計・施工技術などの広範な普及・発展が期待でき、脱炭素社会の実現に資する計画として認められ、国土交通省の「令和4年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)」として採択されています。



外観イメージ 国立駅南口駅前広場付近より

※現時点のイメージの為、今後の検討により変更となる可能性があります。

1 本計画について

JR 東日本グループ初の木造商業ビルとして、大林組の中高層木造建築の技術を導入し、ビルの構造部等へ積極的に木材を使用することで、CO₂の固定化、森林資源の循環利用促進に寄与するとともに、「サステナブル」をキーワードに、景観やまちづくりへの取り組みに力を入れる国立という立地にふさわしい商業ビルの建築を目指します。

2 本建物の特徴について

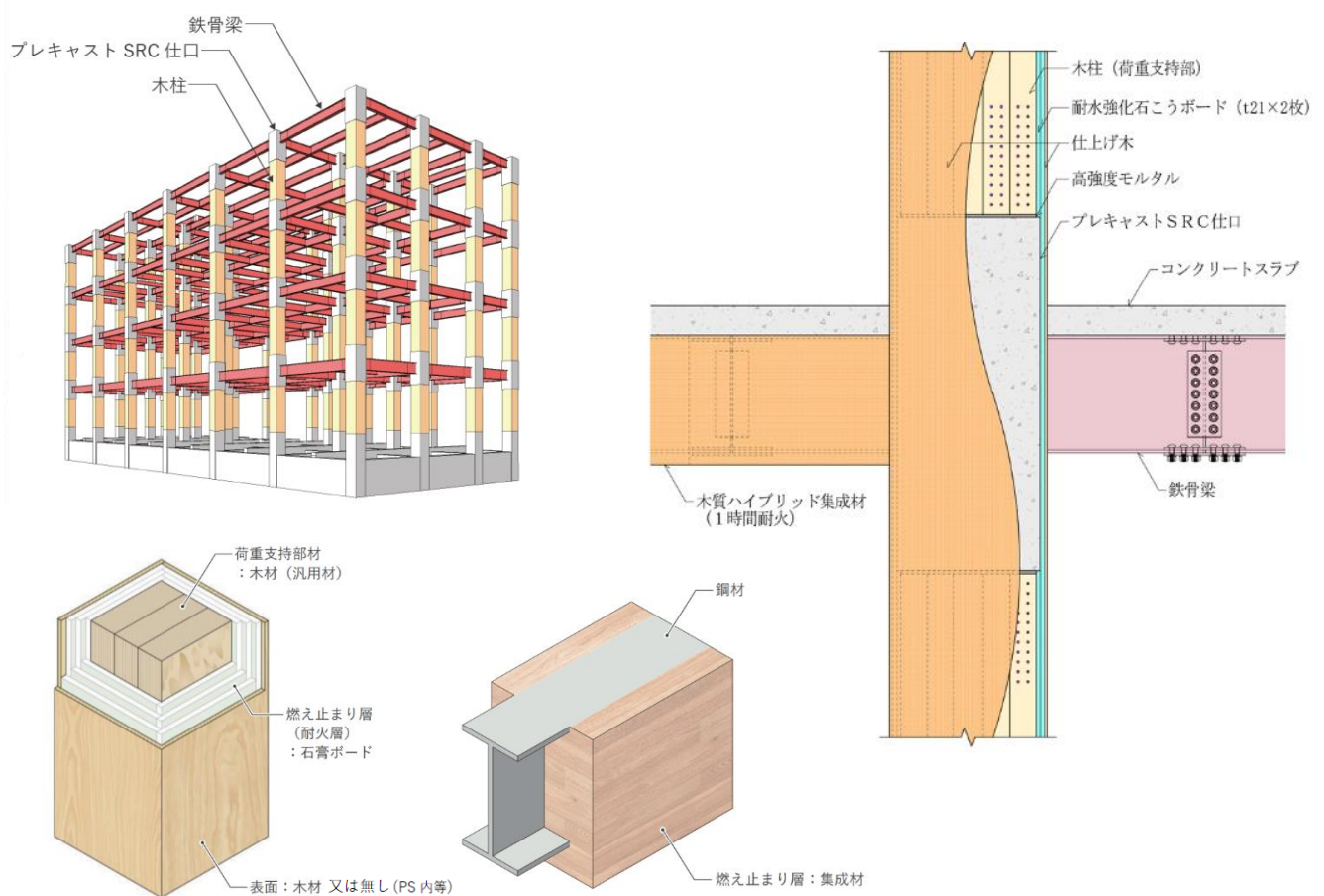
(1) 木材の積極的利用により、約 150トンの CO₂ 量を固定化

本建物では、構造材をはじめとした各所に木材を積極的に使用することで、試算上、約 150トンの CO₂ 量(1ha のスギ人工林が吸収する CO₂ 量の 17 年分に相当)が固定可能となります。内装仕上げ等には、地域の木材である多摩産材を使用し、林業・木材産業をはじめとする地域経済の活性化に貢献します。

(2) 都市木造の普及を促進させる木柱と鉄骨梁のハイブリッド木造技術を採用

本建物は、防火地域内に位置し、防耐火の要件が厳しい地域でありながら、構造部や内装仕上げ部に積極的に木材を採用します。構造部は、大林組の技術である「オメガウッド(耐火)(※1)」を採用した木柱と、鉄骨梁を組み合わせたハイブリッド木構造とし、鉄骨梁も耐火被覆に集成材を利用した木質ハイブリッド集成材梁を採用することで、木造の耐火建築物を実現します。

また、異種構造の接合部は耐火性能上、熱伝搬の課題があることに対し、本建物では、接合部(仕口)に、プレキャスト SRC 造を採用し、熱伝搬を抑止することで解決しています。また、1階木柱の柱脚部は、地盤面より約1mの高さまでRC造とすることで、木柱部の応力低減と併せて、防腐・防蟻対策を図っています。これらの技術により、国土交通省から、本計画が先導的な木造建築物として設計・施工技術などの広範な普及・発展が期待でき、脱炭素社会の実現に資するとして認められ、「令和4年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)」(※2)として採択されました。



各技術イメージ (構造フレーム、木柱/オメガウッド(耐火)、鉄骨梁/木質ハイブリッド集成材※、プレキャスト SRC 仕口)

※木質ハイブリッド集成材の製造・販売は、日本集成材工業協同組合になります。

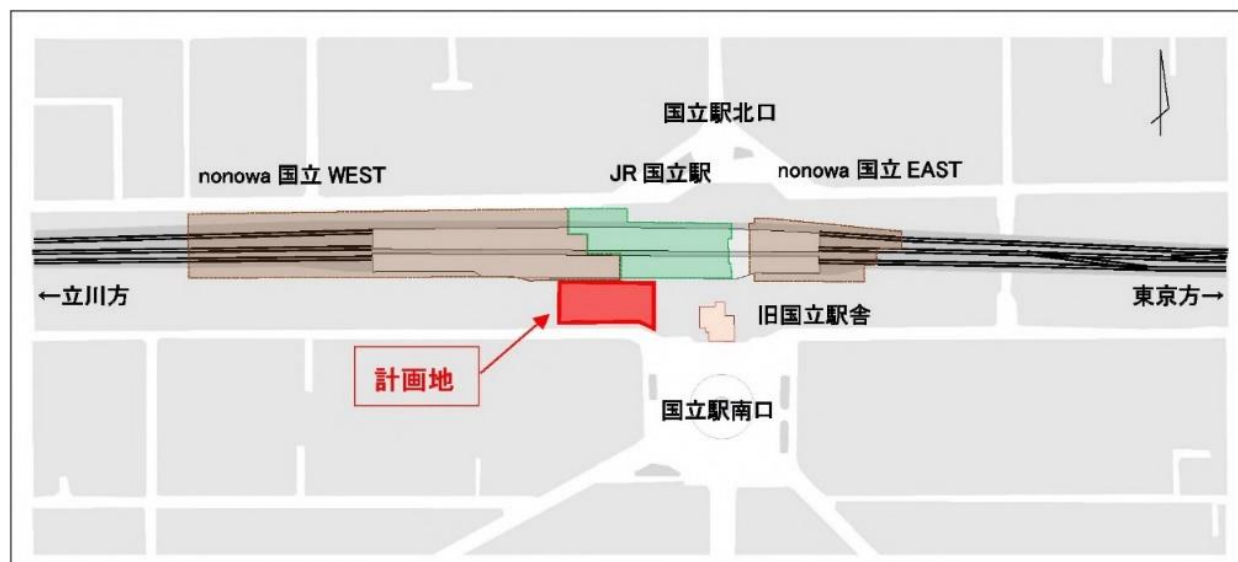
3 大林組の木造建築への取組について

大林組は ODAYASHI WOOD VISION(※3)を掲げ、本計画におけるハイブリッド木造技術とともに、都市部における中高層木造の商業施設建築で得られる知見を活用し、木造建築のさらなる普及に努めるとともに、高まる顧客からの木造建築へのニーズに対して多様なソリューションを提供することにより、地球・社会・人のサステナビリティの実現に貢献します。

○計画概要

施設名称	(仮称)nonowa 国立 SOUTH
計画地	東京都国立市中一丁目1-52
敷地面積	約 840 m ² (既存 nonowa 国立 WEST 除く)
延床面積	約 2,450 m ² (既存 nonowa 国立 WEST 除く)
主要用途	物販・飲食・サービス等
階数	地上 4 階
構造	木造(一部鉄骨造)

【計画地案内図】



○スケジュール(予定)

工 事 : 2023 年 3 月 ~ 2024 年 3 月 ※2023 年 2 月より準備工事着手

開 業 : 2024 年春

※出店テナントや運営等の詳細は、現在検討中のため別途プレスリリース等で順次お知らせします。

○開発事業者概要

商 号 : 株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン

本 社 所 在 地 : 〒184-0004 東京都小金井市本町 1-18-10 小金井本町ビル 5F

U R L : <https://www.jrccd.co.jp/company/>

代表取締役社長 : 高橋 好一

○実施設計・施工者概要

商 号 : 株式会社大林組
本 社 所 在 地 : 〒108-8502 東京都港区港南 2 丁目 15 番 2 号
U R L : <https://www.obayashi.co.jp/>
代表取締役社長 : 蓮輪 賢治

※1 オメガウッド(耐火)

大林組が株式会社シェルターとの技術協力により 2016 年に開発した、汎用木材による耐火木造技術。本計画では、オメガウッド(耐火)の燃えしろ層が無い、「1時間耐火認定柱」の認定を新たに採用し、意匠性が求められる設備諸室内などには素地で使うなどローコスト化に貢献している

大林組 HP「オメガウッド(耐火)」: https://www.obayashi.co.jp/news/detail/20160229_1.html

※2 サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)

国土交通省が、住宅・建築物の木造化に係る先導的な技術の普及啓発に寄与する木造建築物に対し、予算の範囲内において、当該提案に基づくプロジェクトの実施に要する費用の一部を補助することを目的として実施される事業

事業 HP: <http://www.sendo-shien.jp/04/>

評価委員会講評: http://www.sendo-shien.jp/04/comment/download/comment_2.pdf

※3 OBAYASHI WOOD VISION

「OBAYASHI WOOD VISION」は、木を中心とした豊かな循環型社会「木と共に、巡る未来」の実現を目指した大林組の取り組み

関連 HP: <https://www.obayashi.co.jp/woodvision/>

【お問合せ先】

株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン 総務人事部 広報担当 (電話) 042-316-4401 (Mail) press@jrccdc.co.jp

株式会社大林組 本社コーポレート・コミュニケーション室広報課 (電話) 03-5769-1014 (Mail) press@ml.obayashi.co.jp



外観イメージ 国立駅南口駅前広場全景

※現時点のイメージの為、今後の検討により変更となる可能性があります。